

# 市議会だより

## 3月定例会

- 平成31年度一般会計・特別会計・企業会計予算案等を可決
- 議会の新体制を決定

### 目次

議会の人事	②・③
議案の審査・人事案件	④・⑤
委員会の審査	⑥
議決結果	⑦
市政に対する一般質問	⑧～⑭
陳情・意見書・視察受け入れ状況	⑮
市議会案内板	⑯



# 議会の新体制を決定

## 議長に平沼 弘 議員、副議長に栗原 義幸 議員を選出

平成31年2月22日から3月18日までの25日間開かれた3月定例会では、平成30年度一般会計補正予算案、平成31年度一般会計予算案等の議案が市長から提出され、いずれも原案可決・同意等されました。

さらに、3月18日の最終日には、正副議長の辞職に伴う議長選挙、副議長選挙、常任委員の所属変更、議会運営委員会補欠委員の選任、各常任委員会等の正副委員長との互選等が行われ、新しい議会の構成が決まりました。

なお、立候補制による正副議長の選挙では、本会議を休憩し、議場において立候補を表明する発言が行われました。

●議長選挙の結果			●副議長選挙の結果	
平沼 弘議員	13票		栗原 義幸議員	15票
金子 敏江議員	5票		無効	4票
	1票			

### 議長・副議長就任あいさつ ～議会の役割を高め、発展都市へ全力で～



議長  
平沼 弘

平素より、市民の皆様には飯能市議会に対しまして、温かいご理解とご協力をいただいておりますことに心より御礼申し上げます。

私たちは、3月定例会におきまして議長・副議長に就任いたしました。議会の果たす役割と与えられた職責を十分認識して、市政発展に努めてまいります所存でございます。

さて、本年3月16日には、本市の地方創生の核となる待望のムーミンバレーパークがオープンし、連日非常に多くの来園者で賑わっております。本市のまちづくりの骨格を形成する都市回廊空間の拠点整備が着々と進行し、メッツァ、トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園、飯能河原・天覧山への人の流れが創出され、街なかへの波及効果を生み出す施策も次々に打ち出されてまいりました。

地方創生に向けた本市の特性を生かした独創的な様々な政策、施策の展開が積極的に図られ、その成果が大きく花開く時期を迎えてきていることを実感しております。

市議会といたしましても、本市の政策について執行機関と真摯に議論するとともに、市民皆様の声を市政に反映して、住みやすいまちづくりを進めていくことが大切であると考えております。

これまでも様々な議会改革に取り組んでまいりましたが、執行機関に対する監視や政策提言等を行うといった議会本来の役割を高め、市民皆様方の暮らしが豊かなまちづくり、発展都市に向けて全力で取り組んでまいります。市民皆様方の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。



副議長  
栗原 義幸

### 会派の構成

◎代表者（平成31年3月18日現在）

みどりの会	◎野田 直人	平沼 弘	加藤由貴夫	砂長 恒夫
NEXTはんのう	◎大津 力	関田 直子	野口 和彦	
清風会	◎鳥居 誠明	新井 重治		
飯能みらい	◎加涌 弘貴	内田 健次		
公明党	◎中元 太	栗原 義幸	松橋 律子	
日本共産党	◎金子 敏江	滝沢 修	山田 利子	新井 巧
日本維新の会	◎坂井 悦子			

# 委員会の構成

※ ◎印は委員長 ○印は副委員長



## 議会運営委員会

- 議会の運営に関する事項
- 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- 議長の諮問に関する事項

定数7人

◎野口 和彦      ○中元 太  
 新井 重治      坂井 悦子  
 内田 健次      新井 巧  
 野田 直人

## 総務委員会

- 所 管
- 一般会計の歳入
  - 企画
  - 総務
  - 財務
  - 他の委員会に属さないもの

定数7人










◎関田 直子      ○内田 健次      坂井 悦子      栗原 義幸      滝沢 修      砂長 恒夫      野田 直人  
 岩沢862      原市場654-4      川寺583-7      川寺533-4      岩沢1146-1      飯能703-7      飯能1211

## 厚生文教委員会

- 所 管
- 健康福祉
  - 教育

定数6人








◎新井 巧      ○新井 重治      大津 力      平沼 弘      松橋 律子      山田 利子  
 井上732-7      岩沢685      飯能339-6      南川1936      永田345-5      八幡町6-15

## 経済建設委員会

- 所 管
- 市民生活
  - 産業環境
  - 建設
  - 上下水道
  - 農業

定数6人








◎中元 太      ○野口 和彦      金子 敏江      加藤由貴夫      鳥居 誠明      加涌 弘貴  
 落合364-47      美杉台7-16-97      大河原794-1      新町25-1      緑町13-13      美杉台2-11-5

# 議案の審議

## 3月定例会が開催されました

3月定例会は、2月22日から3月18日までの25日間開かれ、市長提出議案45件、議員提出議案1件、その他1件について審議等を行い、すべて議決いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

### 定例会初日には、平成三十一年度予算案の概要説明が市長から行われました。

一般会計予算は、前年度に比べて十三億五千万円、率にして四・九%増の総額二百九十億五千万円にしましたこと。一般会計に八つの特別会計と二つの企業会計の予算を合算した市全体の予算総額は、五百四十二億六千六百二十万円で、前年度比で六・八%の増にしましたこと。  
第五次飯能市総合振興計画に掲げるシンボルプロジェクトを「オール飯能」体制で全力で着実に実行するとともに、「投資すべき事業への積極的な財政出動」、「協働によるまちづくり」、「行政改革」の三つを柱に、今まで以上に市民の幸せと発展都市への飛躍を実現する基本方針等の説明がありました。

### 市長提出議案

③平成三十一年度飯能市一般会計予算

**問** 地域経済動向等の見込みや予算編成の考え方は。

**答** 地域経済報告等によると、景気情勢は緩やかに拡大しており、発展都市に向けて積極的な予算編成に努めた。

**問** メツツアとの連携によるまちなかへの人の流れと経済効果の創出については。

**答** 商店街の皆様からは、「メツツアオープン後は人が増えている」、「メツツアの買い物袋を持った人がお店に来てくれている」と伺っており、さらに強力に進めるため、飯能市ががんばる商店街等応援補助金を創設する。

**問** RPA(ロボテック・プロセス・オートメーション)導入による職員配置の適正化をどのように考えているか。

**答** 導入により、職員の定型業務に係る業務時間を縮減していきたいと考えている。

**問** トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園をはじめとする市内観光地の回遊性はどうする市内在住者の回遊性。

**答** 現在整備を進めている阿須小久保線は、メツツアとトーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園を結ぶ重要な幹線道路であり、観光振興に対する期待も大きい。市内を縦断する大動脈としても一日も早い開通を目指している。

**問** 「女性と子どもにやさしいまち」への支援が継続されているが、新年度の助産師の配置については。

**答** 助産師も加わることににより、周産期の方の相談等に力を入れ、産後鬱の早期発見・早期対応を図ることで、育児不安や児童虐待の防止につなげたい。

**問** 校務支援システムの導入は、どのような取り組みか。

**答** 校務支援システムの導入により、教職員の業務改善を図るとともに、子供と向き合う時間、教材研究をする時間を確保し、質の高い学校教育に向けて一層邁進していきたい。

**問** 新たな事業である放課後子ども教室は、どのようなものを考えているか。

**答** ソニー・ミュージックエンタテインメントエデュケーション事業部との連携及び協力に関する基本協定に基づき、歌やダンスの指導を学年や男女問わず参加したくなる

内容等を提供する予定である。

**問** 放課後児童クラブの運営に民間企業が参入することについては。

**答** 富士見小学校における旧勤労青少年ホームを利用した放課後児童クラブの新設は、運営事業者の応募要件を子育て支援に係る事業を行って

いる法人として民間事業者を選定した。平成三十一年四月から事業を開始する予定である。

**問** 住民票等のコンビニ交付の費用対効果は。

**答** 先進自治体では年間発行枚数の約半分をコンビニ交付が占めており、市役所が開庁していない時間に、飯能市以外の場所で住民サービスを受けられる等、十分に効果があると考えている。

### ▼討論▲

#### 反対の立場

消費税増税による負担増、他市と比較して高い都市計画税、情報漏えいの危険が高くなる住民票等のコンビニ交付、生活保護費の削減、重度心身障害者医療費支給の所得制限、学校給食の民間委託、土地開発公社所有地取得の問題等は認められず、反対する。

#### 賛成の立場

プライマリーバランスは黒字を堅持し、財政健全化にも配



トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園

慮された予算編成であり、発展都市へのさらなる飛躍、飯能市にはメッツァだけでないことの確信、飯能市に住んでよかつたという幸せ、誇り、全身全霊を捧げて邁進する大久保市長の強いリーダーシップを感じられるものであることから、賛成する。

⑳公の施設の相互利用に関する協議について

飯能市、所沢市、狭山市、入間市及び日高市が設置する公の施設の相互利用に関する協議をするため提案するもの。

問 協議の経過と飯能市民のメリットは。

答 埼玉西部消防組合や飯能斎場組合のつながりがあり、平成二十九年度に日高市長から埼玉県西部地域まちづくり協議会への加入を希望する文書が提出されたもの。メリットは、日高市の公の施設を飯能市民も日高市民と同額で相互利用できることである。

㉑飯能市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の賦課限度額を改正するもの。

問 対象者の人数と影響額は。

答 対象は約四百四十人で、影響額は約七百万円。

問 国民健康保険財政調整基金との関係は。

答 基金の残高は増えているが、基金に全て頼ると、基金がなくなつた時に大幅増税になるため、限度額の引き上げにより、負担の公平性を図るものである。

▼討論▲

反対の立場

負担が重く、払いきれない国民健康保険税の現実を直視し、国に公費負担の大幅増を強く求めるとともに、独自にも軽減を進めるべきことから、反対する。

賛成の立場

特定健康診査受診率の高さから、一人当たりの医療費は比較的抑えられ、所得の高い世帯に応分の負担を求める改正は、加入者全体に配慮しており、賛成する。

㉒飯能市農林産物加工直売所条例の一部を改正する条例

当分の間、飯能市農林産物加工直売所の管理を市長が行うこととするため、必要な規定を整備するため提案するもの。

問 経過とサウンディング型市場調査については。

答 地域住民の方々との意見交換会を開催し、名栗特産品協議会の関わり方等に丁寧な協議調整が必要と認識したと

ころ。地域創生の拠点施設と位置づけ、隣接敷地の事業決定が重要なことから、サウンディング型市場調査を実施し、民間のアイデアを募るものである。

⑩飯能市空家等対策協議会条例

空家等対策の推進に関する特別措置法第七条第一項の規定に基づき、飯能市空家等対策協議会を設置するため提案するもの。

問 近隣市における空家等対策協議会の設置状況は。

答 西部十一市においては、七市が既に設置している。

問 空き家バンク制度の実績は。

答 平成二十八年三月より実施し、現在までに三十四件の空き家が登録され、十九件の契約が結ばれた。

⑪財産の取得について

飯能市土地開発公社から飯能市大字阿須字山中八九六番ほか四筆の土地を取得するため提案するもの。

問 今回で七回目の土地取得となるが、その目的は。

答 従来は自然公園ということだったが、取得した土地を有効活用できないかという議論が生じ、民間提案を受けたもの。究極の目標は土地開発公社

の解散で、この対応について問題は無いと県からは回答を得ている。

▼討論▲

反対の立場

取得目的が自然公園から民間事業者への貸し付けに変わったこと、大規模な太陽光発電事業により自然災害や環境破壊が懸念されること、自然公園として整備することに市民が期待をしていることから、反対する。

賛成の立場

飯能市土地開発公社理事会等において、約十七ヘクタールの大広大な土地を自然公園以外で有効に活用できないか等の意見があり、官民連携による地方創生に資する取り組みとして、市と市民の利益につながることを期待することから、賛成する。

③平成三十一年度飯能市後期高齢者医療特別会計予算

歳入歳出予算の総額を、それぞれ十億千四百四十四万六千円と定めるもの。

問 埼玉県の後期高齢者医療制度の保険料額については。

答 平成三十一年度は前年と同額。余剰金を活用するなどして保険料の上昇は抑えられている。

▼討論▲

反対の立場

消費税増税が大きな負担となる低所得者層に負担を押し付けることはあってはならないことで、制度改悪を国や県の改定だからやむを得ないと認めることはできず、反対する。

賛成の立場

国は消費税を十%に引き上げ、世代間公平の観点から将来世代の負担軽減に重点をおき、少子・高齢化対策として、低所得者層を支援するための財政措置等を予定しており、メリハリのついた予算設計であることから、賛成する。

## 人事案件

④監査委員の選任について

監査委員吉島一良氏が任期満了となるので、新たに嶋田昇氏を選任することについて、全員同意しました。



嶋田 昇氏

# 委員会の

## 審査

議会に提出された議案や請願は、専門的により詳しく審査をするため総務、厚生文教、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。3月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

○の中の数字は議案番号（順不同）

### 総務委員会

② 飯能市減債基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例

●飯能市土地開発公社に飯能市廃棄物処理施設整備基金から八億八千万円貸し付けていたが、新施設の稼働や旧ごみ処理施設の解体費用等に基金を活用したため残高が減少しており、飯能市土地開発公社に飯能市減債基金から貸付をできるようにすること。（反対討論あり）

④ 公の施設の相互利用に伴う関係条例の整理に関する条例

●平成二十九年に所沢、狭山及び入間市民が飯能市の文化・福祉施設を利用した割合は、利用者全体の約四・九%、体育施設は約九・七%であること。

③② 平成三十一年度飯能市一般会計予算

●個人市民税の所得割額は、前年度比一・一%増の四十二億六千八百万円を、均等割額は前年度比〇・七%増の一億四千六百万円を見込んでいること。

●法人市民税の法人税割額は、前年度比一三・六%増の五億八千三百万円を、均等割額は前年

度同額の一億八千七百万円を見込んでいること。

●防災行政無線再整備事業は、アナログ方式からデジタル方式に変わり、最も低コストで聞き取りやすい周波数帯を選択することで到達性が良くなること。（反対・賛成討論あり）

④③ 平成三十年飯能市一般会計補正予算（第五号）

●プレミアム付商品券は、住民税非課税世帯と三歳未満の子がいる世帯の世帯主が対象で、全ての方が購入した場合、五千五百万円分の経済効果が認められると考えていること。

### 厚生文教委員会

④④ 平成三十年飯能市一般会計補正予算（第四号）

●奥武蔵小学校改修工事は、外壁改修とトイレ改修で、夏休みを中心に予定しているが、二期も授業等に影響がない範囲で進められるスケジュールを考えていること。

③② 平成三十一年度飯能市一般会計予算

●放課後児童対策事業は、児童クラブの数が三か所増えるこ

とを想定したもので、委託料が約五千万円、補助金が約千六百万円の増を見込んでいること。

●奥武蔵小学校の校庭に建設する児童クラブは、現在設計中だが、四十名程度が入室できる規模で、木造平屋建てを予定していること。

●加治小学校校舎空調設備改修工事は、防衛省の補助金を申請しており、補助金額は一億千四百十四万九千円であること。（反対討論あり）

③③ 平成三十一年度飯能市国民健康保険特別会計予算

●国民健康保険税の減額は、後期高齢者医療制度に移行する方が増え、全体で九百二十四人の減少が理由であること。（反対討論あり）

④③ 平成三十年飯能市一般会計補正予算（第五号）

●予防接種事業は、風しん抗体保有率を平成三十二年七月までに八五%、三十三年度までに九〇%以上とすることを目標としていること。

### 経済建設委員会

④④ 平成三十年飯能市一般会計補正予算（第四号）

●有間ダム右岸道路の落石対策は、防護柵を設置する工事で、約二〇〇kgの岩が高さ二五mから落ちても耐えられること。

③② 平成三十一年度飯能市一般会計予算

●宮沢湖周辺遊歩道を整備すること。

●清川橋測量設計委託と概略設計を進めること。

●都市回廊空間整備事業は、トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園のわんぱく池排水設備改修工事や循環設備設置工事等が主な事業であること。（反対・賛成討論あり）

④① 平成三十一年度飯能市水道事業会計予算

●旧市街地の赤水対策で老朽管布設替事業は、平成三十一年度末で約八四%が終了し、八十一年以上経過の老朽管布設替完了は、平成三十二年が目途であること。（反対・賛成討論あり）

④② 平成三十一年度飯能市下水道事業会計予算

●一般会計繰入金は、企業会計では内容に応じて科目計上し、特別会計と考え方に大きな変更はないこと。（反対・賛成討論あり）

平成31年3月定例会 議決結果

■賛否が分かれた議案等

表の見方：議案番号の「議提」は議員提出議案の略、○は賛成の議員、×は反対の議員

議案番号	議案名	議席番号・議員名																			議決結果	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19		
		新井重治	坂井悦子	関田直子	大津力	野口和彦	内田健次	平沼弘	栗原義幸	中元太	松橋律子	滝沢修	山田利子	新井巧	金子敏江	加藤由貴夫	砂長恒夫	鳥居誠明	加瀬弘貴	野田直人		
2	飯能市減債基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
7	飯能市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	—	原案可決
11	飯能市下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	—	原案可決
12	飯能市水道事業給水条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	—	原案可決
14	平成30年度飯能市一般会計補正予算（第4号）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
21	平成30年度飯能市訪問看護ステーション特別会計補正予算（第2号）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
31	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	—	原案可決
32	平成31年度飯能市一般会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	—	原案可決
33	平成31年度飯能市国民健康保険特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	—	原案可決
39	平成31年度飯能市後期高齢者医療特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	—	原案可決
40	平成31年度飯能市訪問看護ステーション特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
41	平成31年度飯能市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	—	原案可決
42	平成31年度飯能市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	—	原案可決

※野田直人議員は議長のため、採決には加わっていません。

■全会一致の議案等

議案番号	議案名	議決結果
1	飯能市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
3	飯能市観光案内所管理運営基金条例を廃止する条例	原案可決
4	公の施設の相互利用に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決
5	飯能市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
6	飯能市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
8	飯能市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
9	飯能市農林産物加工直売所条例の一部を改正する条例	原案可決
10	飯能市空家等対策協議会条例	原案可決
13	飯能市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
15	平成30年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
16	平成30年度飯能市下水道特別会計補正予算（第2号）	原案可決
17	平成30年度飯能市笠縫土地地区画整理特別会計補正予算（第2号）	原案可決
18	平成30年度飯能市双柳南部土地地区画整理特別会計補正予算（第2号）	原案可決
19	平成30年度飯能市岩沢北部土地地区画整理特別会計補正予算（第2号）	原案可決
20	平成30年度飯能市岩沢南部土地地区画整理特別会計補正予算（第2号）	原案可決
22	平成30年度飯能市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
23	公の施設の相互利用に関する協議について	原案可決
24	市道路線の廃止について（大字小瀬戸地内）	原案可決
25	市道路線の廃止について（大字川崎地内）	原案可決
26	市道路線の認定について（大字岩沢地内）	原案可決
27	市道路線の認定について（大字阿須地内）	原案可決
28	契約の締結について（飯能市旧ごみ処理施設解体工事）	原案可決
29	契約の締結について（阿須小久保線（跨線橋）下部工事）	原案可決
30	契約の締結について（西武鉄道池袋線元加治第3号踏切道立体交差化工事）	原案可決
34	平成31年度飯能市笠縫土地地区画整理特別会計予算	原案可決
35	平成31年度飯能市双柳南部土地地区画整理特別会計予算	原案可決
36	平成31年度飯能市岩沢北部土地地区画整理特別会計予算	原案可決
37	平成31年度飯能市岩沢南部土地地区画整理特別会計予算	原案可決
38	平成31年度飯能市介護保険特別会計予算	原案可決
43	平成30年度飯能市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
44	平成30年度飯能市下水道特別会計補正予算（第3号）	原案可決
45	監査委員の選任について（嶋田 昇氏）	同意
議提1	子どもを虐待等から守る抜本的な対策を求める意見書	原案可決
	議員派遣の件	派遣

# 市政に対する

## 一 般 質 問

一般質問とは、市の行政全般について市長（執行部）に対し、議員がそれぞれの視点から質問し、説明を求めるものです。

質問する議員は、質問内容を事前に通告します。本会議における持ち時間は一人一時間です。

原稿は、質問者自らが執筆したものを発言順に掲載しています。今回は十三人の議員が登壇しました。

一般質問の様子は、インターネット録画配信をしています。掲載されているQRコードから、該当議員の動画をご覧いただけます。

（ ）の中は会派名です。



野口 和彦（NEXTはんのう）

動物共生環境整備  
不幸な猫ゼロ・殺処分ゼロを  
目指して

**問** 災害時におけるペット同行避難について、三郷市ではペットの防災手帳を作成し、ルールも明確にして取り組んでいるが、本市も取り組むべきでは。

**答** 狂犬病予防接種の際に、ペット用の災害時の心得・避難用具リスト等を記した「愛犬健康手帳」を配布し、周知啓発を行っていく。

**問** 高齢者等のペット問題について、孤独死や介護施設に入所する際、残されたペットの行き場が見つかりづらく、心を痛めてしまうという現状があるが、市としての対応は。

**答** 地域包括支援センターにて、柔軟な対応を行っており、短期の場合はペットシッターやペットホテル等を紹介し、長期やお別れの場合は親族や保護団体等へ譲渡を勧めている。

**問** ノラ猫を増やさない対策として、不妊去勢手術や譲渡会等で新たな飼い主を探す活動などがあるが、本市はどのように取り組んでいるか。

**答** 猫の糞尿や騒音被害等があれば、現地に足を運び対応している。併せて、公益財団法人どうぶつ基金の「さくらねこ無料不妊去勢手術事業」により、手術費が無料で自己負担のないチケットを希望者に配布している。

**問** 本市のノラ猫を指数計算すると4,800匹程度。対してボランティア活動されている方は、約30名とのこと。登録ボランティア制度を用いボランティアさんを増やし、市が自主事業として譲渡会の開催を行政施設で行う等の具体的なサポートをしては。

**答** 研究をしていくが、飼い主のいない猫に関するパンフレットを作成し、広報にも力をいれて周知していく。

**要望** 是非とも不幸な猫ゼロ、殺処分ゼロを目指し、具体的な仕組みで自主的に取り組んでいただくよう要望する。



地域猫







栗原 義幸 (公明党)

市営住宅関連  
入居要件の見直しについて  
防火・防災の対策について

**問** 民法改正（2019年4月施行）により、公営住宅の入居に際しての連帯保証人に、個人根保証契約の限度額設定が必要となった。金額の多寡に関わらず、具体的な額が設定されることにより、入居希望者の連帯保証人確保が難しくなり、身寄りのない単身高齢者や低所得者等の入居が困難な事態が懸念される。見解を聞く。

**答** 公営住宅入居の際の連帯保証人確保について、苦勞している市民がいることは承知している。今回の法改正は保証人保護のために定められたもの。限度額の設定で、それ以上の保証義務を負う必要がなくなり、逆に連帯保証人が確保しやすくなることもあると考えている。

**問** 法改正後、入居希望者に支障が生じぬよう準備と対策を進めて欲しい。高齢者や障害者、低所得者等の住宅弱者が、連帯保証人を確保できないことにより入居を断念することもあると聞く。国交省では公営住宅を住宅セーフティネットの中核と位置付けており、法改正に伴い、連帯保証人を必要としない旨の通知を各地方自治体に発送した。その通知に基づき、連帯保証人をなくす等の入居要件の緩和が必要ではないか。

**答** 現時点で連帯保証人をなくすことは難しいが、近隣市町村の動向を見ながら検討していく。

**問** 公営住宅の防火防災対策について、入居者の高齢化等で防災訓練等の参加が困難な状況がある。集合住宅でもあり、入居者を災害から守る手立てが必要。他の自治体では、災害の未然防止や通報、初期消火や避難等を含めた防火防災実施要領を定めている例がある。本市も同様に、防火防災実施要領を定める必要があるのでは。

**答** 要領が入居者の安心安全に繋がることは認識している。住民同士が万一の時の対応や、自主防災組織との連携について話し合うことに効果があると考えている。意識の向上と継続に努める。



市営富士見団地



中元 太 (公明党)

千葉県女兒虐待事件を許さない  
成年後見制度利用促進法  
民生・児童委員なくして地域福祉なし

**問** 行政の不手際で一縷の望みを賭けた女兒のSOSが踏み躪られ、またしても尊い命が失われた。許されることではないし、決して繰り返してはならない。飯能市の教育行政はどう受止めたか。

**答** 教育行政者として重く受止めている。子どもの命を守る使命を再認識し、強い意志を持って、児童虐待防止策とこうした保護者への対応について関係部署と緊密に連携し万全を期す。

**問** 虐待かもと感じたら189（いちハヤク）へ電話することが、スグにできる虐待防止策なので広く知ってもらいたい。また、多くの世代に浸透しているSNSを活用し、虐待やいじめ防止のためのSNS相談窓口を設置できないか。

**答** 他市でも効果が出ている。整備・強化していくことが望ましいと考え、検討していく。

**問** 国際化（グローバル化）が進む中、子どもたちにも多様性を認め合う（異文化容認）教育が必要ではないか。

**答** 相手を尊重し、違いを違いとして認識し、相互に共通している点を見いだす態度、相互の価値観を尊重し合う態度の育成が重要と考える。

**問** スマホやパソコンを活用される高齢者も増えてきている。認知症簡易診断を市のホームページでできないか。

**答** 早期に相談ができる機会として有効な手段の1つであると考え、導入に向けて進めたい。

**問** 飯能市の成年後見制度。施行されている利用促進法に合わせた推進について伺う。

**答** 利用促進法に基づく国の基本計画を見据え、本市の実情と市民ニーズにかなう運用に努める。

**問** 民生委員・児童委員は地域福祉になくてはならない存在。善意で100年続くこの制度も見直しが必要である。活動し易い対応と対策は。

**答** 事務局が地区へ出向き、地区の委員の皆様の話を直接聞く機会をつくることも含め整備する。





加 涌 弘 貴 (飯能みらい)

消防団員の確保、待遇改善について  
第6分団2部詰所の改築について  
自主財源の確保と都市基盤整備

**問** 災害の際は地元精通する消防団は頼りになり地域防災の要。様々な災害から市民の生命、財産を守るべく、多忙な生業の傍ら崇高な消防精神のもと、高い規律を保持し使命感に溢れ日々訓練に励んでいる。この度、飯能消防団は日本消防協会から最高位の「まとい」を受章された。誇らしいことであり、消防関係者の長年のご努力に感謝と祝意を表す。一方、若者人口減少で団員確保が課題。働き方改革が社会全般で進む中で参加しやすい環境整備、待遇改善、負担軽減への支援を。また、手狭な第6分団2部詰所の早期改築と新型消防ポンプ車の配備を要望するが。

**答** 詰所は征矢神社北側市有地に移転予定。新年度設計委託料を計上し、早期に建築できるよう鋭意取り組む。順次古い車両から計画的に配備する。

**問** 県下3位の広大な面積を抱え、市道の維持管理にも多額の予算が必要。新年度に美杉台バス通りやグローブヒルズ前の舗装改修が予算化されたが、美杉台多目的グラウンド人工芝や見晴公園トイレの改修要望も寄せられている。一方、未耐震の保育所や地区行政センターも喫緊の課題。公共施設等総合管理計画に基づき、良好な都市基盤を次世代に引き継ぐためにも財源確保が重要。防犯灯LED事業では年間1,200万円、10年で1億2千万円の経費削減が見込まれ新たな財源が生まれた。その上、自治会負担の維持管理費も不要となり行政改革の大きな成果。ムーミンバレーパークのグランドオープンで、市の注目度も増す。今後も行政経営の視点で市長が先頭に立ち、オール飯能体制で自主財源の確保を図り、快適安全の住みよい発展都市に向けて都市基盤整備に全力で取り組んでいただきたいが。

**答** 発展都市に飛躍するため大汗をかく所存。交流人口、定住人口増加に向け、自主財源の確保、都市基盤整備に全身全霊で取り組む。



早期改築が求められる第6分団2部詰所



内 田 健 次 (飯能みらい)

森林所有者意向調査結果について  
森林管理の方向性を明確に  
集約推進と混交林化

**問** 過去、度々林業政策について市の見解を質してきた。今回、森林所有者意向調査で課題が浮き彫りになり、森林管理の方向性と将来ビジョンが見えてきた。国の施策として森林環境税及び森林環境譲与税が導入される。今回の意向調査の背景に管理法が施行される等、所有者や事業者にも風が吹いてきた。市がこの調査を行ったことは、今後の林業行政に力を入れている証と思う。調査結果の概要を伺う。

**答** 市内森林所有者は、3,998人。回収数は2,440人。回収率は61%。所有林の場所を70%が知っている。細かな境界まで知っていた人は5割程度。全く知らない人が2割。第6次飯能市森林整備計画を知っている人は少ない。森林管理を行っている人は4割。全く管理していない人が53%。今後、森林管理ができる人は1割。不安と答えた人が3/4。所有者だけで森林を管理することは困難ということが明らかになった。

**問** この調査結果を施策にどう反映させるのか。

**答** 森林所有者の多くは、危機意識を持ちながらどうすべきかわからない人が多い。林業経営に適した森林は集約を推進し、条件が悪いところは針広混交林へと誘導し、観光や環境等の観点から多様な森林活用を進める。

**問** 60年間大事に育ててきた木を成果として搬出することを考えてほしい。意向調査に対し返事がなかった4割の人に調査を継続するのか。

**答** 一定の期間をおき、調査を継続する意義は高い。  
**問** 本来この調査は、森林所有者の集合体である組合が行うべきだが。

**答** 組合とも連携調整のうえ、実施に至った結果を共有し有効に活かしていく。





**新井 重治** (清風会)

元加治駅南口開設について  
阿須山中土地有効活用事業について  
阿須地内市道の安全対策について

**問** 元加治駅利用者の多くは仏子第4号踏切道が元加治第1号踏切道を渡っているが、朝夕は車両も多いため大変危険な状況である。入間市及び西武鉄道と協議を行っているというが、元加治駅南口開設の現状と今後の取り組みは。

**答** 朝夕の時間帯に踏切を渡る人は大変多く、利便性、安全性についての課題は承知している。現在、入間市、西武鉄道と三者で協議を進め一日も早い南口開設に取り組んでいく。

**問** 区画整理事業の進捗により、今後元加治第1号踏切道が廃止されると大変不便になる。そうなる前に早急に南口の開設をお願いしたいが。

**答** 踏切道の統廃合は南口開設と深く関連しており、引き続き三者協議を粘り強く進めていく。

**問** 阿須山中土地有効活用事業だが地元で情報が伝わってこない。事業計画が現在どのように進んでいるのか進捗状況について伺う。

**答** 進入路、排水計画等について調査、調整を進めている。今後の状況により、事業者から地元で説明する予定。また「飯能市太陽光発電施設の設置に関するガイドライン」も適用となる。

**問** 特に排水計画については、周辺の安全や環境への影響に十分配慮いただきたいがいかがか。

**答** 流末となる唐沢川の管理者との協議及び周辺の安全や環境への配慮は事業主へ徹底する。

**問** 駿河台大学付近の信号機のある交差点から、約150メートル南の急カーブの所で事故が頻発している。平成29年6月に死亡事故も発生。更なる安全対策をお願いしたいが。

**答** 当該箇所については、死亡事故後に路面標示や看板を設置し注意を促している。今後も関係機関と共に交通安全に取り組む。

**要望** 今後も交通安全対策に取り組んでいただき、昨年のような「交通事故防止特別対策地域」の指定を受けることがないよう要望する。



**関田 直子** (NEXTはんのう)

小規模特認校制度の周知  
若手職員による2040年問題への取り組み

**問** 奥武蔵創造学園の教育理念に共感し、小中学校併せ5名の小規模特認校制度を利用した児童生徒の就学が決定したとの報告を受けた。この制度の周知や募集方法、相談件数等を伺う。

**答** 小規模特認校の募集は、例年10月頃、広報はんのう及び市ホームページの募集案内へ掲載、また、小・中学校、保育所、幼稚園等へ募集案内の配布を行う。12月上旬に就学希望の申請受け付け、同月下旬に就学を決定。教育内容や通学手段に関する相談が多く、奥武蔵創造学園に関しての問い合わせが約10件ある。

**問** 小規模特認校制度を利用し居住地域外の学校に就学することは、本人・家族にとって大きな決断。4月入学・転校を基準とすると、10月頃の募集告知では検討期間が短いのではないかと。十分な準備と特認校制度をより周知するため、情報提供をもう少し早めることはできないか。

**答** 小規模特認校への就学の検討は、家庭において様々な視点から時間をかけ十分に話しあった上で決断されていると推察する。10月からの募集では十分な検討ができないケースもあると考えており、再来年度の募集は平成31年度の早期に広報等で小規模特認校の周知をする。

**問** 生産年齢人口のさらなる減少が問題視されている2040年問題。現時点で策を講じることは難しいが、今、飯能市はこうすべきと正しい方向性を導く力を蓄えることが大切。鍵は21年後に行政の中心にいる若手職員。今から全庁的に連携し、持続可能なまちづくりの政策提案ができるチーム「2040プロジェクト」の開始を提案するが。

**答** 熱意のある職員を一人でも多く育成し、将来の飯能市の発展に向けた政策を立案する仕組みづくりが必要。こうしたことから「2040プロジェクト」は、大変有効であると考えている。





**新井 巧** (日本共産党)

阿須山中17haの山林  
危うい計画をやめ、  
自然公園に

**問** 市には阿須山中の17haの山林(市土地開発公社所有)を20億円で買い戻し、そこで太陽光発電の売電収入でサッカー場建設を進める民間事業者に年間87万円で貸し付けるといふ計画がある。市が策定した太陽光発電施設の設置に関するガイドラインの中で、河川区域は適当でないエリアとなっている。また、遵守すべき事項として、①近隣住民等に周知を図り、近隣住民等との協調を保つこと。②雨水等による土砂・汚泥の流出や水害等の災害防止対策を講じること。③既存の地形や樹木等を活かしながら、良好な景観に支障を与えないこと等をあげている。これらが完全に守れるのか。

**答** 事業者には説明している。また、関係法令に基づき状況を報告するとともに、図面等が整理できたら住民説明会を行う予定である。

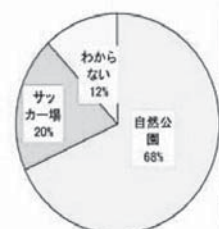
**問** 公社の経営健全化計画では、県ふるさと創造貸付金を借りて買い戻しをしようとしているが、貸付金の趣旨は「市が行う公共施設または公用施設の整備事業に対して貸し付けを行う」と明記してある。20億円の借金をして購入し、民間事業者がサッカー場経営をするのに年間87万円で貸し付けるといふ事業は想定していない。趣旨が違うのではないか。

**答** 土地開発公社の解散に向けた取り組みであれば用途は問わないということで、引き続き貸し付けを行う旨の回答を県から得ている。

**問** 私たちが実施したアンケートでは、災害、経営破たんが心配なのでやめた方がいいという声が6割。約7割の方が自然を活かした公園を求めている。住民の不安があり、住民も望まない計画は白紙に戻し、自然公園として市民参加で構想を進めるべきではないか。

**答** この事業が地域の活力につながるものと期待しており、予定どおりこの計画を進めていく。

この場所をどうしてほしいですか



◆24年度理事会に提出した土地開発公社経営健全化計画書

(3) 埼玉県ふるさと創造貸付金の活用  
貸付対象事業に土地開発公社経営健全化事業があるので、埼玉県ふるさと創造貸付金を活用し、買い戻しをする。  
(注) 埼玉県は、市町村に対する総合的な財政支援を充実させることを目的とし、市町村が行う公共施設又は公用施設の整備事業に対して貸付を行っている。



日本共産党が市民4,500人に実施したアンケート



**坂井 悦子** (日本維新の会)

加治小学校前の通学路安全対策  
交通安全指導員・見守りボランティア  
ひとり親家庭の支援

**問** 加治小学校前通学路は、区画整理等で交通量、安全性が変化。対策は。

**答** 各学校の点検、要請を全て協議し対応。路面標示、看板等で注意喚起。関係機関と連携、協議も。

**問** 交通安全指導員は、不在が多発。見直す自治体も多い。実績を踏まえつつ、設置規則含め、より発展的な制度への検討が必要では。

**答** 様々な募集に努めている。重要な役割であり、他市の取り組み等を調査、研究する。

**問** 地域住民による子どもの見守り活動は、交通安全にも欠かせない存在。所属団体や窓口を把握し、ボランティア保険が適用されるよう支援が必要だが。

**答** 自治会、学校、関係部署と連携し、保険登録を働きかける。

**問** 女性と子どもにやさしいまちとして子育て支援が様々ある中、ひとり親家庭の支援は独自事業がない。市内子育て世帯の12%に当たるひとり親のニーズ調査が必要では。

**答** 本市の人口規模では、ほとんどの対象者と面談ができ、意見が聞ける。調査の予定はない。

**問** ひとり親の就労や通勤等に対応した相談事業の強化、ひとり親サロン拡充等、生活安定への不安解消サポートが必要では。

**答** ひとり親に限定せず、連携を密に必要なサポートに取り組んでいる。

**問** フードバンク・フードドライブの今後の検討は。

**答** 市は実施していないが、飯能市社会福祉協議会で取り組みがある。

**問** 行政、企業、NPOが連携し社会問題の解決を目指す「コレクティブ・インパクト」の取り組みには多くの寄附が集まっている。寄附やふるさと納税活用の支援は、財政負担軽減面からも必須だが。

**答** 財源の確保は必要であり、寄附文化の醸成にも努める。





滝沢 修 (日本共産党)

岩沢北部・南部区画整理事業の見直しから10年過ぎ、現状分析と今後の整備方針は

**問** 岩沢南北の区画整理事業は北部が平成6年度、南部は7年度が事業開始の年度であった。しかし、多大な移転戸数などから事業が進まず、市は平成19年に20年間で事業が終わるよう見直しをした。10年経過したが、現状をどの様に分析しているのか。

**答** 阿須小久保線等の都市計画道路や東西幹線道路の整備を優先に進め、要望の高い下水道整備の推進を図ってきた。エリアによっては宅地開発も進んでいる。

**問** 事業見直しにより、20年間で完了する計画とした。31年度は、折り返し10年のスタートとなる。今後、10年で事業が終わるのか。

**答** 区画整理継続区域と除外地区を一体的な整備区域と捉え進めているので、見直しの効果が出ていると考えている。今後も建物移転等を進めるとともに、幹線道路や生活道路、下水道の整備を進め、事業完了に向け全力で取り組んでいく。

**問** 阿須小久保線は、西武線を越える跨線橋整備が2021年度末には供用開始の見込みとなった。岩沢地区はさらに北上し、藤田掘を越え国道299号までの整備があるが、見直しは。

**答** 藤田掘までは9割の用地確保ができた。その北側については、30年度より建物移転を進めている。今後、概ね7年で国道299号までの開通を目指している。

**問** 下水道整備について、幹線の整備は概ね100%完了し、枝線の整備も進められている。約36%の整備状況とのことだが、現道を生かすよう見直したわけであり、早期の整備が求められている。今後の進め方は。

**答** 今後は枝線の整備を中心に進めていく。原則、道路の幅員が確保された上で敷設を行うとともに現道内の敷設についても早期整備に取り組んでいく。



幹線道路整備 (岩北)



山田 利子 (日本共産党)

県水増量で市のイメージダウンと市民生活への影響について

**問** 県水が30%混ざっている地域は、市街地を中心として宮沢地域までだが、今後、県水が50%に増量になることから、商店街の食堂の店主から「今までも県水は止めてほしいと市長や県会議員に話しているが、全く何も変わらない。しかもこれ以上増やすなんて認められない。」と言われ、別のお店からは「店に出すお茶は水を買ってきてわかって出している。飯能の水道は信用してない。」とまで言われた。特に飯能市の武州うどんは水が命。市民団体も県水問題に取り組む等、市民の関心も高まっている。「県との約束だから」と増量を強行するなら、市のイメージダウンとなるのではないかと入間川の水で十分足りている。「余っているのに県水を買う必要はない!」これが市民の声である。また、県との協定は、人口を12万人にするという中で結んだ。しかし、今は当時と違い人口8万人弱であり、給水戸数は増えているのに給水量は減っている。今こそ県水を見直すべきではないか。

**答** 市は、水道ビジョンの基本理念に基づき、安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給していくため、経営基盤の強化、水道施設の適正な維持管理に務め、市民から信頼される水道を目指している。湯水、台風による水質汚濁等、最近の気象状況から自己水源と県水の2系統が、安全、安定供給面で誇れるものである。協定については、再構築事業が完了する段階で協議することになっている。今後の受水量については、人口動向、水の使用量、災害時等いろいろな面を勘案して検討していく。

**要望** 市民の声を無視して県水を増量することで、市のイメージダウンになり、市民負担増となる県水増量は止めるよう要望する。



有間ダム





加藤 由貴夫 (みどりの会)

平和都市宣言について  
交通死亡事故撲滅に向けて等

**問** 平和な社会の構築には何が必要か何ができるかを考え行動し続けることが大切。市長はどのような思いで平和都市宣言を発信するのか。

**答** 豊かな自然や文化、人々の優しさや思いやりの心を次世代に繋いでいくことが使命で、誰もが笑顔にあふれ、安心して幸せに暮らせる社会を将来にわたって築いていけるよう発信する。

**問** 公衆無線LANは市内への人の流れを誘導し、交流賑わいの創出に欠かせない。公衆無線LANの利用状況データを生かした政策としてほしいが。

**答** 飯能市の「飯能フリーWiFi」は出先機関含め29ヶ所で、16の言語に対応、共通利用できる商店街やコンビニには70ヶ所のAPがある。JAPANフリーWiFiを登録すると、全国17万ヶ所の利用が可能で統計データの活用は政策立案に役立つものと思われる。

**問** 都市競艇組合からの配分金は累計94億円で、公営競技の更なる認知度向上への周知と、飯能市の魅力発信を図るため、競技場への飯能市のブースの出店等も必要と思うが。

**答** 収益金は貴重な財源であり、有効活用されている周知と、魅力発信の場として検討する。

**問** 創立100周年を迎える、飯能高校と飯能市との連携協定を締結することを提言するが。

**答** 多くの分野で連携協力をしているが、歴史伝統、教育方針を踏まえ、協議していく。

**問** 交通死亡事故撲滅に向けて、全市を挙げての取り組みをしていただきたいが。

**答** 警察や交通安全関係団体との交通事故防止に取り組んでいる。今後も警察署と連携して撲滅に向けて全市をあげて取り組んでいく。

**問** 国道299号と市道1-123号線との交差点に信号機等の設置を検討してほしいが。

**答** 飯能警察署、県土整備事務所とも連携し、調査、環境整備も含め交通安全対策に努める。



国道299号と市道1-123号線の交差点付近



金子 敏江 (日本共産党)

臨時的任用教員の継続雇用が可能に

**問** 教員の多忙化の決定的な要因は、1日に受け持つ授業数の増加にある。もともと1日4コマが基本だったものが、学校5日制への移行やゆとり教育の見直しがあり、子どもや保護者が抱える困難が増え、ケアや対応に多くの時間が必要になっている実態がある。長時間労働是正のために、教員定数増と学校の業務削減に思い切っ取り組んでほしい。考えを伺いたい。

**答** 教職員定数の増加は、教職員の働き方改革につながり、学校教育の充実に直結するものと認識している。教育委員会として、あらゆる機会を通して「教材研究や児童・生徒と向き合う時間の創出と新学習指導要領の確実な実施に見合う教職員定数の増加」を要望している。また、大胆な業務削減について、中央教育審議会が1月に出した答申にもあるが、長時間労働が教師という使命感からであっても教師が疲弊していたのでは子どものためにならない。教師が日々の生活の質を高め、教職人生を豊かにすることで、人間性や創造性を高め、一層子どもたちに効果的な教育活動を行うことができるよう取り組んでいきたい。

**問** 1年雇用の臨時的任用教員の継続雇用が望まれている。特に、特別支援教室では、正規教員は1人。あとは臨時の教員で1年ごとに変わっている。臨時的任用教員の継続雇用を求めてきたが、改善は進んでいるのか伺いたい。

**答** 継続雇用については、これまで通り「継続雇用できない」のが原則だが、①緊急でやむを得ない時で、他に臨任登録者がいない場合。②指導の中心となる内容が特別で、適任の臨任登録者がいない場合に「新たな任用」として協議の上、任用できるようになった。現在進めている平成31年度の人事について、子どもたちのために必要と判断した場合は継続配置を行う考えだ。



教員の定数増が課題の学校現場



策定協議会が開催されました

議会は、飯能市の中・長期的な計画の策定過程において、市長等に対し、議会との協議の場を設けるよう求めることができます。

平成三十年度は、一月十八日に第三次飯能市地域福祉計画及び飯能市自殺対策計画策定協議会が開催されました。



◇飯能市の先進事例を視察に来られました◇

市町村議会行政視察受け入れ一覧

平成31年1月5日～平成31年4月2日

月日	市町村議会名	人数	視察内容
1月15日(火)	長野県岡谷市議会 タブレット検討部会	9	・タブレット端末導入までの経過と現在の利用状況
1月17日(木)	埼玉県幸手市議会 全議員	12	・議会でのタブレット導入による活用法
1月30日(水)	熊本県宇土市議会 議会運営委員会	8	・議会改革と議会活性化の取り組みと課題
2月6日(水)	埼玉県朝霞市議会 全議員	21	・議会におけるタブレット端末の導入
3月19日(火)	埼玉県白岡市議会 会派 創政会	4	・農のある暮らし「飯能住まい」 ・地域活性化のための新たな拠点施設(メツァビレッジ)
3月28日(木)	秋田県大仙市議会 会派 大地の会・公明党	7	・議会改革 ・議会のICT化

市民から  
市議会へ提出

陳情

○の中の数字は陳情番号

① 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める

提出者

日米地位協定を見直す会

共同代表 難波 希美子

② 奥山等のスキ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書

提出者

一般財団法人日本熊森協会

会長 室谷 悠子

市議会から  
国等へ提出

意見書

議員提出議案として提出され、議会の議決を得て国等へ提出したもの。

子どもを虐待等から守る抜本的な対策を求める意見書(抜粋)

千葉県野田市で犠牲になった女兒は、父親の暴力を訴えるSOSを発信していたが、なぜ救えなかったのか。小さな命が奪われている現実はあまりに深刻である。

関係機関の情報共有や連携のあり方等、検証と原因究明を行い、再発防止に向け、改めるべき点をただしていくことが重要である。

昨年三月、東京都目黒区で、親から虐待された女兒が衰弱死した事件後、政府は「緊急総合対策」を打ち出したが、現状を打開できてはいない。

二〇一七年度の児童相談所での虐待対応件数は、約十三万四千件と過去最多であった。児童福祉司の仕事は、複雑多岐にわたり、専門的な技術

や豊富な経験が欠かせない。児童福祉司一人が受け持つ相談事案は百件を超す事案もある。

子どもの安全と命に向き合う現場が疲弊したままでは、事態は改善できない。虐待のサインに気づけるはずの学校も、教員の多忙化等が丁寧な対応を阻んでいる。

よって、国におかれては、子どもを守る土台を確かなものにするため、左記の対策を講じることを求めるものである。

記

一 児童相談所の増設、職員の増員と一時保護施設や児童福祉施設の整備増設を図ること。

二 虐待を受けた子どもへの専門的なケア、心理的、医療的等の支援を強めること。

三 経済的、社会的に困難な事情のある親等が、身近に相談できる体制を強めるとともに里親の支援を強めること。

四 保健室の充実、養護教諭の複数配置等により、学校における体制を図ること。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣あて

# 市議会案内板

## HANNO

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<https://www.city.hanno.lg.jp>

### 飯能消防団 特別表彰「まとい」受章祝



### 審議の日程

#### 3月定例会

- 2月22日 開会  
市長提出議案の上程・提案理由説明
- 27日 議案質疑
- 28日 議案質疑、議案の委員会付託
- 3月 1日 常任委員会（総務・厚生文教・経済建設）
- 4日 常任委員会（総務・厚生文教・経済建設）
- 5日 常任委員会（厚生文教・経済建設）
- 7日 一般質問
- 8日 一般質問
- 11日 一般質問
- 18日 委員長報告・質疑・討論・採決  
市長提出追加議案の上程・提案理由説明・採決  
議員提出議案の上程・提案理由説明・採決  
議長選挙、副議長の選挙  
常任委員の所属変更の件  
議会運営委員会補欠委員の選任  
広域飯能斎場組合議会議員の補欠選挙  
埼玉西部消防組合議会議員の補欠選挙  
閉会

### 議会日誌

#### 1月

- 4日 広報委員会
- 9日 埼玉県都市競艇組合議会臨時会
- 18日 第3次飯能市地域福祉計画及び飯能市自殺対策計画策定協議会

#### 2月

- 1日 広域飯能斎場組合議会定例会
- 4日 埼玉西部消防組合議会定例会
- 5日 代表者会議  
全国市議会議長会基地協議会総会
- 12日 全員協議会
- 19日 代表者会議  
議会運営委員会
- 22日 第1回定例会（3月18日まで）  
広報委員会

#### 3月

- 26日 埼玉県都市競艇組合議会定例会

#### 4月

- 2日 広報委員会

### ◆ 一般質問 ◆

☆インターネットで視聴できます

飯能市議会録画

検索



☆テレビ放映しています

飯能市議会では、飯能日高テレビの番組で一般質問の様子を録画放映しています。

☆ライブ中継をしています

市役所本庁舎1階ロビーにおいて一般質問をライブ中継しています。

### 議会を傍聴しませんか

3月定例会では延べ233名の方が傍聴されました。

次回の6月定例会は

6月7日開会予定です。

会期日程等は6月4日頃内定します。

#### \* 編集を終えて \*

3月16日、宮沢湖にムーミンバレーパークがオープンしました。国内だけでなく海外からも観光客が来園されることでしょうか。メツアのみならず、市街地や宿泊施設へ多くの方が来られるよう期待が寄せられています。また、同日、飯能市は家庭、学校、職場等の様々なところでの平和を求め「平和都市宣言」を制定しました。

そして、元号も平成から令和となりました。平成の時代は大きな災害がいくつかありましたが、令和の時代は平穏で明るい時代になるようお祈りいたします。

市議会も新体制となり、市議会だより担当の広報委員会も新しいメンバーとなりましたので、よろしくお願いいたします。

（鳥居）



広報委員（◎委員長 ○副委員長）

◎鳥居 誠明 ○坂井 悦子 関田 直子  
松橋 律子 滝沢 修 砂長 恒夫

戸田競艇場開催日（埼玉県都市競艇組合主催分）

5/1～5/6、5/16～5/19、5/30～6/2、6/13～6/16

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711

（収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています。）